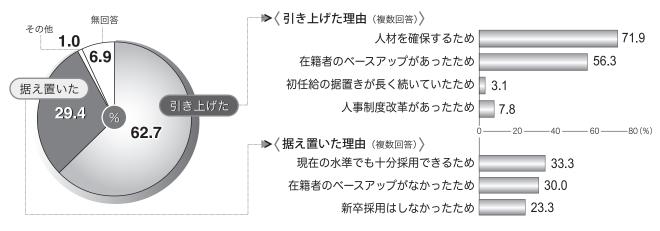
2025年度

決定初任給【中間集計】

- ●62.7%の企業が初任給を「引き上げた」
- ●大学卒[-律]23万6,868円 4.11%UP/高校卒[-律]19万7,459円 4.79%UP
- ◆ 2025年度の初任給の改定状況 (102社)



(注) 左の円グラフは.小数点以下を四捨五入した関係で.合計100にはならない。

調査名 2025年度 決定初任給調査 (中間集計) 調査機関 産労総合研究所 調査期間 2025年4月初旬~中旬 (調査対象 全国の上場企業および当社の会員企業から一定の方法で抽出した約3,000社。4月11日までに回答があった102社を集計。集計企業の内訳は別表参照。本採用後に支払われる所定内賃金月額 (通勤手当、時間外手当等を除く)を尋ねた。

2025年度決定初任給調査の中間集計を紹介する。

25年入社に向けた新卒採用市場では、景気回復の追い 風を受け、企業間における学生の獲得競争がさらに激し くなった。若手人材の確保、優秀な学生へのアピール、 入社後の定着などをにらみ、初任給を30万円台に上げた 企業がマスコミ等で大きく報じられるなど、大幅アップ に踏み切った例も見られた。

一方で在籍社員との賃金バランスや財源の問題から初任給アップを図ろうにもそうはできない企業も見られ、 二極化の様相を呈してきた。今号は、102社の中間集計を紹介する。なお、決定初任給とは、本採用後に支払われる所定内賃金を指している。

また、新入社員への夏季賞与についても調査している。企業別実態など、最終集計結果は7月5日号に掲載する予定である。

別表 集計企業の内訳

		(単位:%,	() 内は社数)
規模	合 計	製造業	非製造業
調査計	100.0(102)	32.4(33)	67.6(69)
1,000人以上 300~999人 299人以下	100.0(5) 100.0(42) 100.0(55)	20.0(1) 42.9(18) 25.5(14)	80.0(4) 57.1(24) 74.5(41)

表 1-1 2025年度の賃金改定状況

			(単位:%	, () 内	は社数)
規模・産業	合 計	賃上げあり (定昇を含む)	賃上げなし (据置き)	その他	無回答
調査計	100.0(102)	76.5	11.8	6.9	4.9
1,000人以上 300~999人 299人以下	100.0(5) 100.0(42) 100.0(55)	80.0 88.1 67.3	7.1 16.4	20.0 4.8 7.3	9.1
製 造業非製造業	100.0(33) 100.0(69)	87.9 71.0	6.1 14.5	3.0 8.7	3.0 5.8

(注)「その他」の内訳:現時点で未定/労働組合と団体交渉中

表 1 - 2 2025年度の賃金改定状況

		(() 内は仕級)
賃上げ額 (円)	うち定昇額 (円)	賃上げ率 (%)	うち定昇率 (%)
13,480(49)	5,500(45)	4.4(55)	1.8(51)

未回答があるため表1-1と回答社数は一致しない。

表 2 規模別、産業別にみた決定初任給(全平均)

(単位:円,()内は社数)

		大学	院卒	大学2	卒,事務·	技術	短大卒 事 務		高校2	Þ,事務·	技術	専修・専門	技術学校卒
規模・産業	博士	修士	一 律	職種やコース	種やコースで異なる場合		高専卒 技術	一 律	職種やコース	で異なる場合	2 年修了	3年修了	
			多工	1=	最高額	最低額	3. 323	32 113	1=	最高額	最低額		り十修」
調	査 計	258,215 (21)	259,632 (29)	236,868 (71)	284,327 (19)	223,838 (19)	213,465 (36)	224,912 (22)	197,459 (54)	229,495 (10)	196,476 (10)	215,348 (24)	216,496 (14)
300 ~	人以上 > 999 人以下	267,133	266,060	258,622 238,238 232,855	254,420	215,616 232,974		269,125 219,275 221,978	207,794 201,577 192,067	222,921 244,833	191,108 209,000		226,000 217,050 214,267
非製	造 造 業			238,730 235,977	336,313 260,334	230,230 220,888	213,698 213,333	216,889 234,540	199,093 196,246	186,000 240,369			199,388 223,340
【対前年	増加額												
	査 計		13,021	9,381	12,969	11,464	10,188	11,465	9,045	8,814	8,083	7,148	8,221
製 非 製	造 造 業	15,567 7,880		12,309 8,135		14,200 9,944		10,442 12,590		10,000 8,617	10,000 7,700		
【対前年	増加率	(%)]											
	査 計		5.38	4.11	5.30	5.39	5.00	5.39	4.79	3.93	4.44	3.44	3.95
製業	造業	6.40 3.17		5.40 3.57	5.93 5.02	6.39 4.79			6.35 3.80	6.17 3.67			

(注)「対前年増加額」「対前年増加率」は、今回調査で2025年度、24年度両方の初任給額に記載のあった企業の増え幅をみたもの。

表3 新卒入社の夏季賞与・一時金の支給状況

(単位:%,()内は社数)

規模・産業	合 計	夏季賞与は 支給しない	何らかの夏 季賞与を支 給する	無回答
調査計	100.0(102)	10.8	1111 0	14.7
1,000人以上 300~999人 299人以下	100.0(5) 100.0(42) 100.0(55)	16.7 7.3		4.8 23.6
製 造 業 非 製 造 業	100.0(33) 100.0(69)	9.1 11.6	78.8 72.5	12.1 15.9

表4 夏季賞与・一時金の支給金額(夏季賞与・一時金を支給する企業)

(単位:円,()内は社数)

		支給基準別支給金額						
学歴	平均	一定額 (寸志等) を支給	在籍期間 の日割計 算で支給	日割以外 の一定割 合で支給	日割+ 一定割合 または 一定額			
大 学 卒	93,031	75,795		110,000	247,000			
= 4	(48)	(39)	(6)	(1)	(2)			
高校卒	68,707 (35)	60,690 (30)	121,261 (4)	99,000 (1)				

▼ 調査結果の ポイント

■初任給を「引き上げた」企業は6割

2025年4月入社者の初任給を「引き上げた」企業は62.7%だった。前回24年度調査の中間集計(70.2%)から7.5ポイントから減少した。引き上げた理由(複数回答)は、「人材を確保するため」が71.9%で最も多く、次いで「在籍者のベースアップがあったため」の56.3%、「初任給の据置きが長く続いていたため」の3.1%などの順となった。

他方,「据え置いた」企業は29.4%。前回中間の17.0%から12.4ポイント増加した。理由(同)は「現在の水準でも十分採用できるため」33.3%,「在籍者のベースアップがなかったため」30.0%,「新卒採用はしなかったため」23.3%の順だった(4頁グラフ参照)。なお,「引き下げた」はなかった。

■初任給額増加率は大卒・高卒(一律) 4%超

学歴別初任給額の水準は、一律に初任給額を決定して

いる場合 (一律), 大学卒は23万6,868円で前年度中間 集計比9,381円 (4.11%) 増,高校卒は19万7,459円で 同9,045円 (4.79%) 増と,額・率ともに前年中間集計 を上回った。

職種やコース(総合職と一般職,広域勤務と地域限定勤務など)で初任給額を区分している場合(格差あり)の最高額と最低額の平均も算出した。大学卒は最高28万4,327円で同1万2,969円,5.30%増,最低22万3,838円で同11,464円,5.39%増,高校卒は最高22万9,495円で同8,814円,3.93%増,最低19万6,476円で同8,083円,4.44%増(表2)。

■新入社員への夏季賞与支給状況、規模間で差が開く

新入社員に「何らかの夏季賞与を支給する」企業は全体で74.5%だった。規模別に見ると,1,000人以上の100.0%に対し,300~999人は78.6%,299人以下は69.1%と,規模間で差が開いた(表3)。

平均支給額は,大学卒が9万3,031円,高校卒が6万8,707円だった(表4)。